

「2026年度奨学生願書」の作成要領

公益財団法人 日本証券奨学財団

学生のみなさんへ

本財団の奨学金に応募する場合は、指定大学の推薦を受ける必要があります。
募集要項(5.応募方法)を確認のうえ、所属大学の奨学金担当に確認して願書を作成してください。

願書ファイルの作成および提出方法

ページ	書類名	作成者	作成方法
P.1	奨学生候補者推薦書	大学学(総)長	大学へ作成依頼
P.2 ~5	奨学生願書(顔写真付)	学生(応募者)	PC入力 ※P3のみ自筆
P.6	指導担当教員所見	指導担当教員	大学へ作成依頼
P.7	個人情報の利用に関する同意書	学生(応募者)	署名(自署)、捺印

- ① 期日に余裕をもって必要書類を所属大学に提出
- ② 奨学生願書P.3とP.7の自署欄がある書類は原本を提出
- ③ 顔写真データのファイル名は、「大学名_氏名」とする
- ④ 現住所が住民票等と異なる場合は、大学発行の「居住証明書」を添付すること

(注意点)

★日本学生支援機構(給付型)の授業料免除を受給(申請)する方は、本財団の奨学金に応募できません

★「他の奨学金等」の併願及び併給については、大学を通して財団から併願及び併給の承認を事前に受けること ※ 募集要項の「4.応募対象者」の(3)参照

P.2~5 「奨学生願書」の入力及び記入例は以下のとおりです。

「募集要項」を確認し、奨学金の趣旨や本財団の求める人物像について理解したうえで応募すること

2026年 月 日

奨 学 生 願 書

公益財団法人 日本証券奨学財団
理事長 殿

私は、貴財団の奨学生募集要項に記載されている「将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある」学生ですので、貴財団の奨学生に採用いただきたく以下のとおり応募いたします

当年度4月1日以降の月日を記入

以下、青色の塗りつぶしセルは全て入力(氏名欄「中間(Middle)」はある場合のみ)

〇〇学部まで入力

大学				顔写真 (画像挿入) (4cm×3cm) ・上半身・無帽 ・6か月以内の撮影 ・カラー
学部				
学科				
学年				
氏名	氏名 First	中間 Middle (ある場合のみ)		
ふりがな				
年齢	4/1現在	生年月日 (西暦)		
性別		国籍	卒業予定年月	

当年度の所属を正確に入力

顔写真の画像挿入がうまくいかない場合は、画像データで別途提出

〇〇学科まで入力
無い場合は「-」と入力

ファイル名は必ず「大学名_氏名」とする

生年月日を入力

最短修了年限を入力

↓↓
年齢欄が自動計算される

※当年度4月1日現在、22歳以下が応募対象者

通常使用しているEmailアドレスを必ず1つ以上入力
複数ある場合は「,」で区切る

2. 応募者の連絡先

郵便番号	〒	市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8	都道府県	東京都
建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号		住宅の種類 (注2)	自宅	
固定	03-3664-7113	携帯	090-0000-0000		
E-mailアドレス (注3)	jssf.office@jssf.or.jp, jssf.office123@jssf.or.jp				
扶養者住所電話番号 (注4)	郵便番号	000-0000	都道府県	東京都	
	市区町村・番地	中央区日本橋茅場町 1-5-8			
	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号	電話番号	03-3664-7113	

(注1) 現住所が住民票等と異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付してください
 (注2) 「自宅」を選択し、相違の場合は「自宅外」と入力してください。
 (注3) 複数あるものをすべて「,」で区切って入力してください
 (注4) 扶養者が海外に居住している場合は「扶養者住所電話番号」の全ての欄に「-」と入力 (空欄不可)

部屋番号まで入力

扶養者と同居の場合も入力
扶養者が海外に居住している場合も入力
(空欄不可)

扶養者と同居の方は「自宅」、別居の方は「自宅外」を選択
独立生計者の場合は「自宅」

※奨学金月額に関係するので、正確に入力してください

「3. 大学生活に関して」は自筆で記入

3. 大学生活に関して

氏名 _____

(今思い描く将来の自分と、その将来に向けて大学生活のなかで実践或いは計画していることについて記述してください。また、自らが財団の奨学生としてふさわしいとアピールする内容を記述してください) (※800字程度)

プリントアウトして自筆で記入
(PC入力制限あり)

空白期間の無いよう、浪人期間や休学期間、職歴等がある場合は必ず記入すること

4. 履歴 (高等学校卒業校以降)

年 (西暦)	月	学歴・職歴 (アルバイトを除く)

5. 資格・特技、賞罰

資格・特技	「なし」(空欄不可)
賞 罰	

記入すべき事項が無い場合は空欄にせず、「なし」と記入する

生存する二親等以内の親族及び、扶養者と同居している親族をすべて記入

応募者が独立生計者の場合は、扶養者の欄は全て「-」を記入する

6. 家族の状況及び家庭の実情

(1) 家族の状況

続柄	氏名	年齢	①自営・勤務・学生・無職の別	②扶養者・同居・別居の別
扶養者 父	証券 父郎	55	勤務	-
母	証券 母美	50	勤務	同居
兄	証券 兄也	25	勤務	別居
姉	証券 姉美	22	無職	別居
弟	証券 弟男	17	学生	同居
妹	証券 妹子	15	学生	同居
祖父	証券 祖父郎	80	無職	別居
祖母	証券 祖母子	75	無職	同居

(注)応募者本人の二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入してください(記入欄が不足の場合は別紙使用可)

※ 記入した者全員の住民票の写し(コピー不可)等を提出してください(別家計の者を除く)

(2) 家計の状況(世帯収入) : 7,000 千円(年)

扶養者と同一家計の収入は合計額を記入(各種年金の受給額や不動産収入等も含む)
※別居=別家計のため合算はしない

記入例の場合、本人及び同一家計の父、母、弟、妹、祖母の住民票等の添付が必要
※募集要項「5.応募方法」③参照

本財団の奨学金を必要とする家庭環境について、記入できる範囲で(1)(2)を補足すること
記入すべき事項が無い場合は空欄にせず「なし」と記入すること(空欄不可)

※ 世帯収入が一般的に高いと思われる場合でも支援が必要である状況等
※ 世帯収入以外で公的支援等を受けている場合や、親族から援助等を受けている場合等

(3) 家庭の実情(経済状況、健康状態、その他特記事項)

「なし」(空欄不可)

応募者の今年度の経済状況の見込み額を年額で記入すると

大学独自の授業料免除を記入する
(日本学生支援機構(給付型)は併願・併給不可)

7. 本年度の経済状況

(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出			収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560	千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請中含)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120	千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む)※自宅通学者は0	0	千円	本人(アルバイト)	60
交通費(通学費)	60	千円	本人(貯蓄)	0
通信費(電話、インターネット代)	30	千円	日本学生支援機構(貸与型)(申請予定・申請中含む)	150 千円
教材費	100	千円	他の奨学金等(注 ¹)(申請予定・申請中含む)※本欄は、本財団に事前に承認を得たものに限り使用可	50 千円
貯蓄(目的: 留学)	100	千円		
その他(目的:)		千円	その他()	
その他(目的:)		千円	その他()	千円
合計(注 ²)	970	千円	合計(注 ²)	970 千円

日本学生支援機構(貸与型)と他の奨学金等詳細は下表(2)へ入力
※日本学生支援機構(給付型)は併願・併給不可

複数ある場合は合計額

収入と支出の合計額が同額になることを確認(自動計算)

(注¹) 原則、本財団の奨学金応募時において、他の奨学金等と併願してください
(注²) 収入と支出の合計が同額になるように記入してください(正)

(2) 上表の「日本学生支援機構(貸与型)」・「他の奨学金等」欄に記入している場合は、詳細を記入してください

団体名及び奨学金の名称	年額	給与・貸与の別	受給期間 (YYYY/MMで入力)	申請予定・申請中・決定・受給中の別
日本学生支援機構	150 千円	貸与	20 年 月 ~20 年 月	申請中
●●大学奨学金	50 千円	給与	20 年 月 ~20 年 月 20 年 月	決定

上表「収入」に記入した奨学金の詳細を記入する

年額で記入

日本学生支援機構の貸与型は併願・併給可
//
の給付型は併願・併給不可

無い場合は「なし」と記入すること(空欄不可)

(3) その他、過去に奨学金等を受給している場合は、その内容を記入してください

YYYY年4月からYYY年3月まで日本学生支援機構貸与型奨学金100万円受給

以上